

# 令和2年度学校自己評価システムシート (県立越生高等学校)

目指す学校像	生徒一人一人の長所を伸ばし、社会で活躍できる「人財」の育成を目指す学校
--------	-------------------------------------

重点目標	1 主体的な学びによる基礎学力の充実と専門的な能力の向上
	2 豊かな心と自主的・自立的な態度の育成および進路意識の向上による進路希望の実現
	3 保護者や地域と連携した安心・安全な開かれた学校づくり

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
年 度 目 標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標			
1	<b>【現状】</b> ・少人数授業等での効果があり、今まで分からなかった内容について、できるようになった生徒が多くいるが、理解度の低い生徒も存在している。 <b>【課題】</b> ・授業規律の更なる向上と、達成感を与えられるような授業を工夫する。	○学びの質の向上	①自主的に学習に取り組めるような授業改善をする。 ②教員同士の自主的な授業参観によって、授業改善を行う。  ③生徒に適切な課題を提示し、学習への取り組みを向上させる。	①意欲的に学習に取り組む生徒が増えたか。 ②授業見学や情報共有が行われたか。 ②生徒の授業に対する、理解度・満足度が増したか。 ③課題の提示・提出後の指導によって、生徒の学習の取り組みが向上したか。			
		○学習環境の整備と学習意欲の醸成	①正しい授業規律の下で授業を展開することによって、授業に集中して取り組めるようにする。 ②考査の前の課題や補習を円滑に行う。	①授業規律を守っている生徒が増したか。 ①欠点保持者が減少したか。 ②家庭学習の時間、考査前の学習時間が増したか。			
2	<b>【現状】</b> ・生徒指導面では、ネットトラブル等の対人関係でのトラブルが無くなることと、他の問題行動が増えている。 ・進路指導において、生徒の特性に合った指導及び自己肯定感を高められている。 <b>【課題】</b> ・問題行動の未然防止と基本的生活習慣の確立を促す。 ・進路に対する意識と自己肯定感を更に高めるとともに企業開拓にも取り組んでいく必要がある。	○基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上	①ネットトラブルを防止するために、ネットトラブル防止講演会を開催する。さらに非行防止教室、薬物乱用防止教室を実施する。 ②集会等で生徒全体に呼びかけ、問題行動を未然に防ぐ。 ③教育相談推進委員会や特別支援教育推進委員会等と連携し、個に応じた指導をする。 ④生徒に自信をつけさせ、生徒自らが発表する場や、仲間を取りまとめる場面をつくる。	①ネットトラブルや対人関係等のトラブルが減ったか。  ②問題行動が減少したか。 ③個に応じた指導ができたか。			
		○進路意識の向上と進路実現	①職業適性検査やクレベルン検査、SPIテストなどの各種検査結果を、個に応じた指導に活用し、自己理解を促す。 ②JSTと連携し、生徒の自己肯定感を培う面接指導を実施する。  ③進路の手引きの内容を検証するとともに、有効に活用する。	①各種検査の結果から生徒自身の適性を理解させることができたか。  ②面接指導を通して一人一人の長所を引き出し、自己肯定感を高められ、進路実現の一助となったか。 ③進路の手引きの内容を改善し、LHRや学年集会などで有効に活用できたか。			
3	<b>【現状】</b> ・地域の方との学校行事でのふれあいや作品展示などにより、保護者・地域との連携を進めている。 ・校外での学校説明会など工夫した生徒募集を行っているが、募集人員確保では厳しい状況である。 <b>【課題】</b> ・HP等による情報発信を積極的に行い、保護者・地域への理解を更に深めていくとともに、志願者数を増加させ、募集人員を確保することが大きな課題である。	○教育活動の積極的な情報発信	①HPを活用しリアルタイムな情報発信と、越生カレンダー・白梅通信等の配布によるPRによって、本校の理解を深める。 ②50周年記念行事実施に向けて、実行委員会を中心に、具体的な方向性を検討する。	①HPの閲覧回数が増えたか。 ①本校の教育活動の理解を得られているか。  ②50周年記念行事について実行委員会によって、記念行事を具体化できたか。			
		○募集人員の確保	①学習塾への訪問等により、本校のPRをし理解を深める。  ②学校説明会・進学フェア・進路相談会を活用し、本校の良さを中学生や保護者へPRする。 ③部活動を通じた中学生との交流を行う。	①学習塾への訪問等によって本校の理解が深められ、学習塾に通っている中学生が、学校説明会に参加したか。 ②説明会等に参加した中学生が増したか。  ③中学生に本校の部活動の魅力を伝えることができたか。			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	